

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年1月18日～2016年1月24日】

[当地報道をもとに作成]

平成28年2月2日

在ジョージア大使館

1. 外 政

▼対イラン経済制裁解除に関する外務省声明(21日)

・対イラン経済制裁解除を受け、ジョージア外務省はイランの核計画をめぐる包括的共同行動計画の実施の決定をもたらした国際社会の努力を歓迎するとの声明を発表。

▼欧州議会の決議(21日)

・欧州議会はジョージア、モルドバ、ウクライナとの連合協定の実施に関する決議を採択。ジョージアに関しては、査証自由化行動計画によって進められた改革を歓迎しつつ、「ルスタヴィ2」をめぐる動きに言及してメディアの多様性を保障するよう政府に促すとともに、検察の独立性の強化を含む司法改革の重要性を強調。また、国内の政治的な二極化を解消し、与野党の対話を進めるよう呼びかけている。

・クヴリカシヴィリ首相は欧州議会に感謝するとともに、近い将来の査証自由化の決定を期待しているとの声明を発表。

▼首相がダボス会議に出席(21日)

・クヴィリカシヴィリ首相がダボスで行なわれた世界経済フォーラムに出席。パネルディスカッション「ユーラシアと現代のシルクロード」に参加し、「ジョージアにとっては、原油価格の下落は産油国からの投資意欲の減退を意味し、原油価格の下落によってジョージアは恩恵を得どころか、産油国とともに打撃を受けている」と発言。中国の一路一帯構想に関連し、近隣諸国との協力の重要性を強調。

・「ク」首相はスウェーランド米國務次官補らと会談。

・同行したジャネリゼ外相はクルツ・オーストリア欧州・統合・外務相、ジェンティロニ伊外相、プレヴスレン・モンゴル外相、マルコラ・アルゼンチン外相らと会談。

▼カパナゼ統合参謀総長がベルギーを訪問(21日)

・カパナゼ・ジョージア軍統合参謀総長がブリュッセルを訪問。NATO 軍事委員会に出席し、アフガニスタンでの Resolute Support ミッションについて議論。

・コスタラコス EU 軍事委員会委員長、ブラッドショウ欧州軍副司令官、アルメニア軍およびトルコ軍統合参謀総長らと会談。

▼国会議長がポーランドを訪問(24日)

・ウスパシヴィリ国会議長がポーランドを訪問し、クフチンスキ・ポーランド下院議長と会談。「ク」ポーランド

下院議長は、ポーランドはジョージアとの関係の発展に関心があり、EU・NATO 加盟を含むジョージアの優先的な外交政策を積極的に支持するとともに、東方パートナーシップのフォーマットにおけるジョージアの更なる前進を強く望んでいると述べた。両国会議長はジョージアのEU加盟について議論。「ウ」国会議長は、ジョージアはワルシャワでの首脳会議が更なる前進の場になるよう期待しており、ポーランドによる支持を確信しているとして、「ク」ポーランド下院議長に感謝を述べた。

2. 内 政

▼サメグレロ地方の検事の死亡(18日)

・13日に行方不明になったキリア検事が、16日にトビリシ市内のアパートで死体で発見された。数時間後に警察はトビリシ市内で、キリア検事を殺害した犯人と見られる同氏の親戚でTV局およびラジオ局「Voice of Georgia」の所有者クチャヴァ氏を発見。内務省の発表によれば、発見の際、「ク」氏は自動車内で銃で自殺した。

▼パンキシ渓谷出身者がシリアで死亡(18日)

・シリアに渡り戦闘員としてISILに加わっていたパンキシ渓谷出身の男性2名がシリアで死亡。これまで少なくとも12名のパンキシ渓谷出身者がシリアで死亡している。

3. 経 済

▼2015年の貿易統計(20日)

・国家統計局が2015年の貿易統計(速報値)を発表。貿易額9928百万ドル(前年比13%減)、輸出額2204百万ドル(同23%減)、輸入額7724百万ドル(同10%減)。

・貿易相手国の内訳はEU諸国32%、CIS諸国28%。国別では貿易額の多い順にトルコ、ロシア、アゼルバイジャン、中国、ウクライナ、ドイツ、アイルランド、ブルガリア、米国、アルメニア。

・日本との貿易高は輸出額3.304百万ドル、輸入額206.01百万ドル。

▼ラリが対ドル史上最安値を記録(21日)

・22日、ラリがドルに対して前日より約1%減値し、為替レートは1米ドル=2.4694ラリをつけた。1999年2月に記録したこれまでの対ドルでの最安値1米ドル=2.451ラリを突破。

・同日、国立銀行は外貨市場で2千万米ドルを売却。外貨の売却は今年に入って2度目。